

# 国連総括所見は私たちに何を求めているのか

## ～日本の障害者福祉の分岐点と権利条約～

**2023年6月24日（土）**

**14:00～17:00**

**（13:30 受付開始）**

**講師：藤井克徳 氏**

**日本障害者協議会（JD）代表**

**定員：100名**

**費用：会員無料/非会員 1,000円**

※非会員の方の支払方法は申し込み後にメールでご案内します。

**開催方法：ZOOM（参加 URL は研修の数日前にメールでご案内します）**

**申し込み方法：下記 URL または QR コードからお申し込みください。**

**（申し込み〆切 6/15、入金〆切 6/16）**

**<https://forms.gle/R8NbtbaBYovxdxH48>**



昨年8月に障害者権利条約に基づく対日審査が行われ、9月には総括所見が出されました。その内容は人権モデルへの転換や強制医療の廃止等、日本の障害者施策が抱える課題を浮き彫りにするものでした。

私たちの支援は法にのっとって行われていますが、その法自体の不十分さを突きつけられた今、改めて支援はどうあるべきか、そのために何をしていくか考える必要があります。

今回の研修では長年日本の障害者福祉の発展に尽力されてきた藤井克徳氏をお招きします。第一部で日本の障害者福祉施策の変遷とどのような運動がされてきたのか、第二部で権利条約や総括所見について学び、第三部で参加者との質疑やディスカッションを行います。

皆様ぜひご参加ください。

問い合わせ先：とうきょう会議研修委員会 [kensyu.tokyo.kaigi@gmail.com](mailto:kensyu.tokyo.kaigi@gmail.com)